

電気炉の設置・電気工事について

電気炉の設置

- ① 電気炉は湿気を嫌いますので、風通しのよい場所に、壁から 30 センチ程離して設置し、近くや上部には可燃性のものは置かないようにして下さい。
- ② 換気の悪い部屋には換気扇等を設置し、部屋の換気をよくして下さい。
- ③ 炉体は温度が上昇すると高温になりますので、触れるとやけどすることがあります。お子様などが近づかない場所をお選び下さい。
- ④ 屋内や室内への設置が適しますが、屋外に設置される場合は、雨や雪から遮断するよう工夫して下さい。

電気工事

- ① 電気炉を設置する場合、**配線工事**が必要になりますので、まず最寄の電気工事店または電力会社に電気工事についてご相談のうえご依頼下さい。

その際必ず**設置予定の炉の電気容量(電源／家庭用単相200V、三相200V等、消費電力／〇KW、〇アンペア等)**を告げて下さい。

また、以下の②から⑤の配線に関する留意点も必ずご提示下さい。

- ② 使用時、配線の熱損失を少なくするためにも、**配線は 20～30%の余裕**をみて下さい。
- ③ 焼成温度が1000℃を超える電気炉の場合、漏電ブレーカは、**定格感度電流値は100mAまたは200mA**をご使用下さい。
- ④ 本焼成電気炉には、コードはついておりません。
電気炉設置時に、手元ブレーカーと電気炉制御装置部背面にある端子台との**直結工事**をして下さい。
- ⑤ アース線は電気炉制御装置部背面にある端子台横のビスにお取り付け下さい。

※ これらの工事には電気工事費が必要です